

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日)

1. 概要

平成29年1月、米国トランプ政権が発足、自国第一主義と法人税制改革は米国内の景気を上昇させ、それに引きずられるように日本の株価も上昇してはいるものの、個人消費の向上には繋がっていないのが現状である。トランプ大統領の背景にはGDP世界1位の国家が控え、大統領の一挙一動が世界情勢をも混乱させる力もあり、それにより各国が一喜一憂している傾向が続いている。

首都圏一極集中であった鉄骨需要も、本年度に入り各地域の回復傾向が見られるものの、山梨県内は民間の下支えでようやく動いている状況で、一県だけが取り残されているように見える。

平成29年度、当協会は6月に実施した溶接競技大会に合わせ同会場の駐車場を利用した総合展示商談会を行い、会員と賛助会員との繋がりを深めた。開先角度に関するJASS6が改訂となり、当協会ではそれを見越し開先角度30度で溶接を施した試験体の非破壊検査結果をまとめ、9月に広島で開催された日本建築学会の講演で発表した。本年度は更に試験体溶接部の品質を確認することで、設計者にこの30度開先仕様を積極的に採用して頂くことを目的とした機械的試験を実施した。なおこの機械的試験を上部団体の補助金事業に申請した結果採択、請負契約書を締結した。本採択事業は平成30年7月期限で報告書提出のため、現在これに向けた纏め作業を行っている。

公益法人制度改革から計画的な事業として続いている継続3事業並びにその他の事業は、溶接安全・経営近代化・教育技術に青年部を加えた委員会・部会で実施し、認定職業訓練や安全教育による資格取得、マイスターによる技能者の養成・育成・技術力の向上、労働災害防止のための情報集約と発信、上部団体と協力を共にしたS造・共同積算・共益事業の推進や各種調査事業、グレード認定による鋼構造物の品質確保、溶接競技大会の開催と全国大会での支援活動など多くの会員企業が協力し一体となって実施した。

高校生に対しては業界のアピールを協会から積極的に行い、従来から実施の技能教育や溶接に関する資格取得と安全意識の向上を図ることで、協会と高校との結びつきも出始めてきている。

以上平成29年度は、期初計画した事業を協会が一体となり進められたことに感謝申し上げ、事業の概略報告とさせていただきます。

2. 総会・理事会の開催状況

(1) 総会 平成29年 5月18日(木)

平成29年度 一般社団法人山梨県鉄構溶接協会定時社員総会

第1号議案	平成28年度事業報告について
第2号議案	平成28年度収支決算報告承認並びに監査報告について
第3号議案	平成29年度事業計画の報告について
第4号議案	平成29年度収支予算書の報告について
第5号議案	平成29年度会費の基準並びに入会金及び会費額決定の件
第6号議案	役員報酬額決定の件
第7号議案	その他

(2) 理事会 (計11回実施)

第1回:平成29年 4月10日	第5回:平成29年 8月 8日	第9回:平成29年12月 7日
第2回:平成29年 5月 9日	第6回:平成29年 9月 8日	第10回:平成30年 2月16日
第3回:平成29年 6月 8日	第7回:平成29年10月 6日	第11回:平成30年 3月 8日
第4回:平成29年 7月14日	第8回:平成29年11月 8日	

3. 継続3事業の実施報告

(1) JIS規格、日本溶接協会規格に基づく溶接技能者評価試験(資格付与)に関する事業

月度	溶接技能評価試験			サーベイランス
4 月度	一 般	29年 4月 15日	44 件	72 件
5 月度	堀之内技能訓練所	29年 5月 12日	7 件	68 件
	一 般	29年 5月 13日	35 件	
6 月度	一 般	29年 6月 17日	67 件	90 件
7 月度	一 般	29年 7月 15日	63 件	70 件
8 月度	—	—	—	39 件
9 月度	一 般	29年 9月 16日	67 件	87 件
10 月度	一 般	29年 10月 14日	54 件	67 件
11 月度	一 般	29年 11月 18日	67 件	70 件
12 月度	一 般	29年 12月 9日	55 件	116 件
1 月度	—	—	—	36 件
2 月度	一 般	30年 2月 17日	94 件	53 件
3 月度	一 般	30年 3月 17日	54 件	58 件
合 計 (前 年 度)		607(669) 前年比90.7%		826 件

(2) 鉄構・溶接技術、技能の競技大会に関する事業

① 第8回関東甲信越高校生溶接コンクール

平成29年 4月22日 (土)

神鋼溶接サービス株式会社(神奈川県藤沢市宮前100-1)

溶接コンクールの結果：12位、19位であった。

- ・ コンクール推薦参加者：高校生 2名(韮崎工業高校生2名)、付添教諭1名
- ・ 付添高校教諭：3名(韮崎工業高校 校長・教頭 他)、応援生徒 6名(韮工)
ポリテクセンター山梨(指導員講師3名)、協会会員・役職員・事務局含め
総勢21名参加

② 溶接競技大会事前講習会(高校) 平成29年5月20日 (土)

ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原403-1)

- ・ 高 校 生 26名 ： (峡南(6)、甲府工業(6)、甲府城西(1)、韮崎工業(3)、
(7校) 富士北稜(2)、笛吹(2)、都留興譲館(6))
- ・ 高校教師10名 ： (上記各 7校 教師)
- ・ ポリテクセンター講師 1名、
- ・ 協会インストラクター等 4名、 協会事務局 2名 以上43名

③ 第50回山梨県溶接技術競技大会 平成29年6月10日 (土)

ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原403-1)

- ・ 被覆アーク溶接の部 ： 10名 (参加企業 4社)
 - ・ 半自動溶接の部 ： 15名 (参加企業 8社)
- 各部門の優勝者 2名を全国大会(神奈川大会)へ推薦した。

実行・審査委員合同会議	平成29年2月13日(火)
第1回審査会(外観検査)	平成29年6月12日(月)
最終審査(X線、曲げ)	平成29年7月11日(火)
表彰委員会	平成29年7月14日(金)
表彰式	平成29年9月 8日(金)

平成30年度 山梨県溶接競技大会に向け、大会役員の他 審査委員・実行委員
 参集によるキックオフ会議を開催した。 平成30年2月16日(金)

- ④ 山梨県高等学校溶接競技会 平成29年6月10日(土)
 ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原403-1)
- ・ 高校生 26名：(峡南(6)、甲府工業(6)、甲府城西(1)、韮崎工業(3)、
 (7校) 富士北稜(2)、笛吹(2)、都留興譲館(6))
 A-2F 最終層はビード継ぎ(つなぎ指定範囲：30mm)
 優勝・準優勝の選手は、両名とも韮崎工業高等学校の生徒であった。
 - ・ 上位2名はいずれも2年生であるため、この2名を来年度開催計画の
 第9回関東甲信越高校生溶接コンクールに推薦する。
- ⑤ 平成29年度(第63回)全国溶接技術競技会 東部地区神奈川大会
 平成29年10月21日(土)
- ・ 受付・競技会場見学
 株式会社IHI(神奈川県横浜市磯子区新中原1番地)
 - ・ 開会式・競技説明会・選手写真撮影・技術交流会
 横浜ロイヤルパークホテル(神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1-3)
- 平成29年10月22日(日)
- ・ 競技会 株式会社IHIにて6班に分けて実施された。
 被覆アーク溶接の部、半自動溶接の部、各 56名で競技を行った。
 山梨からは県大会各部門優勝者2名、付添2名 の合計4名参加した。

(3) 鉄構・溶接工業の品質管理及び安全管理に関する事業

- ① 安全点検パトロールの実施
- ・ 第1回 平成29年 6月22日(木)
 巡回者：2班(11名) 巡回先：4事業所(中央支部)
 - ・ 第2回 平成29年10月17日(火)
 巡回者：3班(10名) 巡回先：7事業所(中央支部(2)、北支部(5))
- ② 技術・品質に関するパトロールの実施：平成29年9月27日(水)
 巡回者：7名 巡回先：株式会社キトー
- ③ 安全標語の募集
 募集期間：平成29年 8月18日 ~ 平成29年 9月30日
 応募総数：全118点(会員企業10社)
 平成29年10月17日に、最優秀作品 1点、準優秀作品 1点、佳作 3点 を選考した。
 優秀作品、準優秀作品は各180部印刷し、協会会員・賛助会員全事業所へ2部ずつ
 配布した。

4. その他の重要事業の実施報告(詳細は次の委員会別事業報告を参照)